

公的扶助論

《担当者名》大友 芳恵（非）

【概要】

社会に内在する貧困・低所得をめぐる諸状況を構造的に捉えることができるように、視覚教材・事例等を用いて現代社会の多面的・複合的課題の理解を行う。さらに、それらへの政策対応や実践のあり方について考える。

【学修目標】

- 貧困状態にある人の置かれている諸状況について説明することができる。
- 貧困に対する法制度や関連制度について説明することができる。
- 貧困に対する支援における関係機関との連携や支援の実際について概説できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	貧困の概念	公的扶助の概念・意義と範囲が説明できる ナショナルミニマムについて概説できる	大友
2	貧困の概念	絶対的貧困 相対的貧困 社会的排除 社会的孤立 ～ について説明できる	大友
3	貧困状態にある人の生活実態と社会環境	貧困状態にある人の生活課題実態について概説できる	大友
4	貧困状態にある人の生活実態と社会環境	貧困状態にある人を取り巻く社会環境について概説できる	大友
5	貧困の歴史	海外の歴史に見る貧困観の変遷と制度について説明できる	大友
6	貧困の歴史	日本の歴史に見る貧困観の変遷と制度について説明できる	大友
7	貧困の歴史	貧困状態にある人に対する福祉の理念について説明できる (人権の尊重、尊厳の保持、貧困・格差・差別解消)	大友
8	貧困に対する法制度	生活保護制度の仕組み について説明できる	大友
9	貧困に対する法制度	生活保護制度の仕組み について説明できる	大友
10	貧困に対する法制度	生活保護の動向と現状について説明できる	大友
11	貧困に対する法制度	生活困窮者自立支援法について説明できる	大友
12	貧困に対する法制度	低所得者対策について説明できる	大友
13	貧困に対する法制度	ホームレス対策について説明できる	大友
14	関係機関と専門職の役割	生活保護の運営実施体制と関係機関・団体について説明できる	大友
15	関係機関と専門職の役割	貧困に対する支援の実際	大友

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験）70%、リアクションペーパー30%

【教科書】

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新社会福祉士養成講座 貧困に対する支援』中央法規 改訂版

【参考書】

授業内で適宜紹介する

【備考】

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「貧困に対する支援」に該当する。教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉学（職業指導を含む。）」に該当する。

【学修の準備】

・授業で提示する事前・事後学習(4時間)の学習を行うこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

高齢者施設のソーシャルワーカーとして多くの生活困窮状態にある高齢者や家族への支援を行ってきた実務経験を活かし、生活保護制度の仕組みや低所得者への制度・施策、低所得状態にある人の生活実態などについて講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している